

前杉並区長

杉並の勇氣

田中良

Vol.14

サポーターズ通信

【テーマ】

浜田山駅南口や 南北交通問題の解決を！

世代の責任を果たそう

プロフィール

昭和35年(1960年)・杉並区生まれ、杉並区育ち。

杉並ひまわり幼稚園～桃五小～獨協中・高～明治大学政経学部卒。

テレビ東京入社後、

平成2年 衆院選に徒手空拳で出馬、落選。

平成3年 杉並区議選に当選。

平成5年 東京都議選に当選、以後連続5期当選。

平成21年 東京都議会議長就任。

平成22年 杉並区長に当選、以降3選。

令和4年 杉並区長選187票差で惜敗。

令和5年 著書「公文書に載らない
東京都政と杉並区政」刊行。

自治体にまつわる様々な問題について
マスコミ等で発信中。

友だち追加を
お願いします！

杉並区政や
地域の話

公式サイト



公式LINE



YouTube



田中良サポーターズ公式

議会ウォッチ

「浜田山駅南口開設」について、現区長はこんな議会答弁をしています。

「当時(田中区政)の区政運営において、行政手続きを軽視し、政治的判断が先行した結果、地域の皆様に過度な期待を抱かせ、その後の不信感や失望、怒りを生む要因をつくったことについては明確に問題があったと考えております。」(令和7年11月21日 第4回定例区議会より)

この問題を整理すると…

田中区長時代には、京王電鉄・地権者との協議を重ねたうえで浜田山駅南口整備事業に関する協定が正式に締結されており、実際に事業化へ向けて進んでいました。しかし区長交代後、交渉はまとまらず決裂。事業は止まり

今日に至るまで全く前に進んでいません。その現状について十分な説明がないままこのように過去の区政を批判することは、論点のすり替えであり責任転嫁です。

地権者の方は南口の入り口となる建物を整備し、この4年近くテナントも入れていない状況です。そして、地域の皆さまが求めているのは責任論ではなく、**浜田山駅南口の早期開設**です。

区政判断によって事業が宙に浮いたままになっている現状にもかかわらず、この岸本区長の答弁はあまりにも不誠実です。

田中良は、自らが区長時代に進めたこの計画について最後まで責任を果たしたいと考えています。

皆さまはどうお考えでしょうか。浜田山駅南口問題について、ぜひ公式LINEよりご意見をお寄せください。

詳しくは中面へ

浜田山駅南口開設の早期実現を!

——田中さんが区長の時に、南口開設は目前だったので
すね。

田中良:そうです。ここは通勤時に踏切で立ち往生する方も出るような所です。切実な地元の要望で、私は2022年3月に区と京王電鉄との間で「**浜田山駅南口整備事業に関する基本協定書**」を、同年4月に「**浜田山駅南口整備事業に関する設計等に関する協定書**」を締結し開設に向けての準備を進めていました。しかし同年6月の区長選挙で岸本区長が誕生する中で南口の建物はできたにもかかわらず、

地権者との協議は不調になり、2023年1月区の経営会議で**南口開設を中断**すると決定したのです。

——この問題について田中さんはいかがお考えですか。

田中良:この問題は住民の**安全にかかわる重大な問題**です。既に建物も完成しており、あとは契約上の問題だけです。これを4年間も放置してきたということ自体許される問題ではありません。私が区長なら**直ちに地権者と協議して開設**します。



すぎ丸の持続的運営と南北交通の解決に向けて

——南北交通の解決と利便性の向上のために必要なことは何でしょうか。

田中良:杉並区の南北をつなぐ道路は狭く、その解決のためには都市計画道路の延伸や狭あい道路の整備がありますが、岸本区政の下では一向に進む気配はありません。そうした中で近年運転手不足からバスの減便を危ぶむ声も出てきています。私は次の方向で**南北交通の充実**を図っていくことが大切と考えています。

①生活路線である**すぎ丸の持続的運営の強化・バス会**

社と連携した運転手確保と経営強化。

②**幹線道路の整備、特に都市計画道路の整備は重要です。**

③**狭あい道路の整備、電線の地中化の促進で道路の幅を図ります。**

④**交通不便地域での
お年寄りから子育て世代までが気軽に利用できるオン
デマンド交通の推進。**

